

## 平成24年度 第10回教育研究評議会議事録

日 時 平成25年2月20日（水）14時30分～17時45分

場 所 事務局大会議室、工学部大会議室

出席者 伊東、石井、碓氷、柳澤、山崎、浅利、船橋、杉山、佐藤、寺村、  
今野、梅澤、國宗、塩川、荒川、酒井、増田、青山、塩尻、東郷、  
星野、佐古、鈴木、渡邊修、糠谷、永津、渡邊尚、三村、田中、村井、  
加藤の各評議員

欠席者 西原評議員

陪席者 大戸、徳山の各監事  
中村、佐藤、木村の各学長補佐

### I 議事録の承認について

平成24年度第9回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

### II 審議事項

#### 1 静岡大学教育研究プロジェクト推進室規則の制定等について

碓氷委員から、前回企画戦略会議（H25.2.6）で設置が承認された、  
標記推進室の規則の制定等について、資料1により説明があった後、種々意  
見交換を行い、原案どおり承認した。

なお、碓氷委員から、本推進室に係る人件費については、間接経費（法  
人本部分）から支出予定である旨の発言があった。

また、議長から、本推進室に係る人事については、推進室の運営上、重  
要であることから、慎重な人選を行いたいとの発言があった。

（意見交換で出された主な意見等）

- 教育研究プロジェクト推進室に、組織・部局を超えた調整機能を持  
たせることが大事である。また、年度毎にどのような活動状況をした  
のかが問われる。
- プロジェクトの採択後及び事業終了後における事務等のサポート体  
制が必要である。
- プロジェクト事業終了後の支援については、大学の取組みとして申  
請したものは3年を限度としてサポートを行うようルール化している。
- 推進室のオフィスは、静岡・浜松両キャンパスに設置する。

#### 2 静岡大学における防災マイスターの称号授与に関する規則の一部改正に ついて

石井委員から、静岡大学防災マイスター称号授与対象者を修士課程学生

に拡大することに伴う標記規則の一部改正について、資料2により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

### 3 静岡大学教員の任期に関する規則の一部改正について

中村学長補佐から、改正労働契約法の施行に伴う標記規則の一部改正について、資料3により説明・提案があり、種々意見交換を行い、各部局で検討を願い、次回本会議において審議することとした。

なお、中村学長補佐から、附属学校教員、非常勤講師、非常勤職員等の対応については、今後検討していく旨の発言があった。

また、議長から、標記規則別表上、再任回数2回となっている部局については影響が出ることから、再任1回目経過後は任期の付されていない職に振替えることが可能となるよう対応する予定である旨の発言があった。

(意見交換で出された主な意見)

- 改正後、同様の職でありながら、任期を付す者と付さない者が存在することが可能となるが、問題はないか。また、公募条件に、過去に本学において任期を付されていた者を除く等の記載の必要があるのではないか。
- 同様の学科等に、任期を付す者・付さない者が存在することについては問題ない。公募条件の記載は、採用を6月後にする等の手段があると考えられ、検討する必要がある。

### 4 静岡大学安全衛生センターの設置について

柳澤委員から、全学の安全衛生管理を効率的・効果的に行うための、安全衛生センターの設置について、資料4により説明があり、原案どおり承認した。

なお、議長から、安全衛生センターについては、管理業務を行う部署であることの説明があった。

また、資料中「安全衛生管理体制（案）」の表記について、体制が明確となるよう修正することとし、関連する規則については、次回本会議において審議することとした。

### 5 平成25年度計画の策定について

浅利委員から、平成25年度計画の原案について、資料4により説明・提案があった後、種々意見交換を行い、意見がある場合は、3月11日までに提出願うこととし、次回本会議でにおいて審議することとした。

(意見交換で出された主な意見)

- 中期計画実現の方策に関して相談できる、サポート体制の構築が必要である。

### 6 東海圏減災研究コンソーシアム（仮称）の設立について

増田委員から、南海トラフ巨大地震等の被害軽減を目指して、東海4県の

6大学で有効な防災・減災素を共同研究すること等を目的として「東海圏減災研究コンソーシアム（仮称）」を設立することについて、資料6により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、同委員から、3月3日に参加大学による調印式が行われる旨の発言があった。

#### 7 フェ海外事務所（ベトナム社会主義共和国）の閉所について

村井委員から、フェ海外事務所の閉所について、資料7により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、村井委員から、今後、同国内への新たな海外事務所の設置について、検討したいとの発言があった。

#### 8 教員の休職について

塩尻委員から、病気休職中の理学部教授を、引き続き平成25年3月1日から平成25年3月31日までの間休職とすること、鈴木委員から、病気休暇中の農学部准教授を平成25年3月3日から平成25年3月31日までの間休職とすることの提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 9 学生の懲戒処分について

杉山委員から、学生の懲戒処分（案）について、別添資料により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

### Ⅲ 報告事項

#### 1 企画戦略会議報告

議長から、第10回企画戦略会議（H25.2.6）について、資料8により報告があった。

#### 2 経営協議会報告

議長から、第7回経営協議会（H25.1.25）について、資料9により報告があった。

#### 3 平成25年度の改組等に伴う取り扱いについて

企画部長から、平成25年度の改組等に伴う取り扱いに係るこれまでの審議を踏まえた、決定事項について資料10により報告があった。

続いて、議長から、理工系教員の修士課程所属に伴う異動に当たっての割愛手続きについて、席上配付資料により説明があり、種々意見交換を行い、第6回本会議（H25.10.17）審議事項「平成25年度の改組等に伴う経費等について」において示された人件費について、再度、整理したものを提示することとした。

なお、議長から、防災総合センター准教授（2名分）人件費を学長管理枠から同センターへの配分とすること、また、同センター2名の准教授

は、理学研究科及び農学研究科に兼務予定である旨の発言があった。

また、各研究科構成員名簿については、各部局において、確認の上、修正箇所があれば企画課へ連絡願うこととした。

#### 4 平成25年4月からの理工系教員の修士所属及び新研究所設置に伴う事務体制について

山崎委員から、第5回本会議（H24. 9. 19）において、事務協議会に付託された、平成25年4月からの理工系教員の修士所属及び新研究所設置に伴う事務体制について、資料11により報告があった。

#### 5 平成25年度非常勤講師所要時間数（補正）について

石井委員から、第6回本会議（H24. 10. 17）で承認された標記所要時間数について、全学教育科目及び教員特別研修にかかる同時間数が変更されたことに伴い、補正を行った旨、資料12により報告があった。

#### 6 ミッションの再定義（工学分野）に関する意見交換について

山崎委員から、ミッションの再定義（工学分野）に関する文部科学省との意見交換について、資料13により報告があり、文部科学省からが示された「静岡大学工学系の強みや特色、社会的役割」について、1間以内を目標に修正・追加等の意見を同省に提示する予定であるとの発言があった。

また、同委員から文部科学省から「人文社会系」については、「人文系」と「社会系」を分け、ミッションを整理するとの説明があった旨の発言があった。

#### 7 人文社会科学部とジャン・ムーラン・リヨン第3大学（フランス共和国）との部局間交流協定の締結について

村井委員から、標記交流協定の締結について、資料14により報告があった。

#### 8 平成25年度主要会議開催予定について

議長から、平成25年度主要会議開催予定について、資料15により報告があった。

#### 9 教員採用等報告について

議長から、人文社会科学部7件、教育学部12件、情報学部1件、理学部3件、工学部3件、農学部3件及び大学教育センター2件の、教員採用等報告について、資料16により報告があった。

### IV その他

#### 1 平成24年度FDシンポジウム「わたしたちの授業改善の取組み」の開催について

佐藤学長補佐から、標記FDシンポジウム（H25.3.7開催）について、資料17により案内があった。

なお、資料について差替えを行うこととした。

## 2 頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム成果報告会について

碓氷委員から、標記成果報告会（H25.2.28開催）について、資料18により案内があった。

## 3 静岡大学発の先端研究を活用した大規模災害時における減災技術の実証試験について

佐古委員から、標記実証試験（H25.3.10開催）について、資料19により案内があった。

## 4 教員データベースシステムの更新に伴う新システムの利用開始について

碓氷委員から、平成24年10月31日からシステム更新のため入力を停止していた、教員データベースシステムについて、平成25年3月1日から新システムによる入力が可能となる旨の案内があった。

なお、同委員から外部公開については、3月下旬を予定している旨の発言があった。

以上